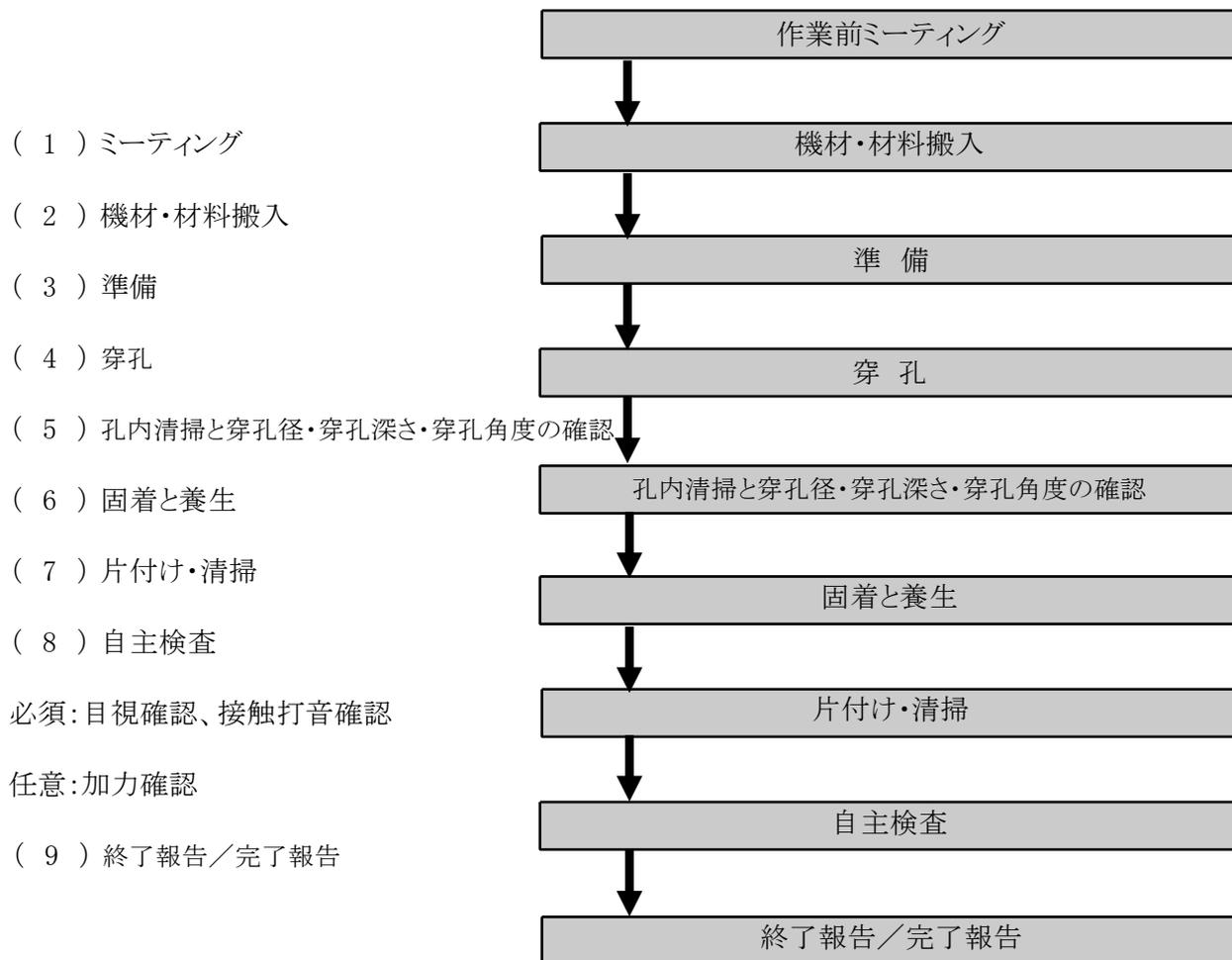


あと施工アンカー工事  
接着系／プレ混合式(無機系)

標準施工手順

現場名

社名



・標準施工手順

施工手順	確認・注意事項
( 1 ) ミーティング	
① 作業前ミーティング	作業員の健康状態のチェック・予定作業の確認 施工数量・作業手順の確認、搬入時通路の確認
( 2 ) 機材・材料搬入	
② 足場等施設の確認	作業区域、場所で安全に作業出来るか作業主任者の点検 ※足場が不安全な場合は管理者と協議し修正をお願いする
③ 定着位置の確認	図面および監督立会いのもと確認を行う
④ 機材・材料搬入	安全通路の確認
( 3 ) 準備	
⑤ 準備	施工工具・アンカー筋等の準備・確認 使用する材料の製品・容量・有効期限を確認
⑥ 墨出し(穿孔位置)の確認	墨出し(穿孔位置)を確認する ※墨出しは管理者の業務
⑦ 埋設物の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋や配管等の位置・深さを確認</li> <li>・電磁波レーダー法は、参考最大深度:600 mm (SIR-EZXT)</li> <li>・電磁誘導法は、参考最大深度:200 mm (PS300)</li> <li>・電磁波レーダー法は、鉄筋・塩ビ管・空洞を探索対象</li> <li>・電磁誘導法は、鉄筋のみ探索対象</li> </ul>

( 4 ) 穿孔	
⑧ コンクリートドリルの選定	所定のビット径、有効長のドリルの選定
⑨ マーキング	コンクリートドリルにマーキング または穿孔深さ調整機構による設定
⑩ コンクリートの穿孔	コンクリート面に対し直角に穿孔
( 5 ) 孔内清掃と穿孔深さの確認	
⑪ ブロワー・バキューム等で清掃する	・穿孔後、孔内の切粉を吸塵 ・孔内に残留物が無いか確認する ※湿式ダイヤモンドコアドリル(以後、コアドリルと略す)を用いる場合は、孔内の泥分(泥状の切粉)を除去する
⑫ 穿孔径と穿孔深さの確認	ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測
⑬ ブラシがけ	穿孔深さや径に適合したブラシを用いて、孔壁面に付着している切粉を十分に掻き落とす
⑭ ブロワー・バキューム等で清掃する	・再び孔内の切粉を吸塵 ・孔内に残留物が無いか確認する
( 6 ) 固着と養生	
⑮ ブルーシート等で養生	周囲に樹脂材の飛散が無いように養生する
⑯ マーキング	孔内にアンカー筋を入れ、施工面の位置にマーキング (ノズルに注入量確認位置をマーキング <sup>注1)</sup> )
⑰ 主剤と硬化剤の混合とて混合状態の確認	・定められた混合方法・攪拌方法で混合し、適切に混合されていることを滴下試験と沈降試験で確認する ・カートリッジ毎に、滴下試験結果と同様な滴下状態であることを確認する
⑱ 混合材注入	孔の底部から、一定の量を一定の速度で注入する
⑲ アンカー筋埋込み 上向きの場合、アンカー筋落下防止措置	・定められた埋込み方法であること(エアーが入らないように、手でゆっくり回転しながら埋め込む) ・くさび等を用いて、必ず落下防止処置を施す ※ゴムバンド等で連結させてはいけない
⑳ 硬化養生	所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない
( 7 ) 片付け・清掃	
㉑ 片付け・清掃	作業箇所の片づけ・清掃
( 8 ) 自主検査	
㉒ 自主検査	目視、接触打音検査
( 9 ) 終了報告／完了報告	
㉓ 終了報告／完了報告	当日の作業報告書／工事完了時に提出する報告書

下記資料を基に手順書を作成

あと施工アンカー施工指針（案）

（接着系/注入方式/カートリッジ型）

—プレ混合式（無機系）—

2020年5月